

科目分類	助産学実践科目 実習			開講時期	1年 後期	
授業科目	助産学実習Ⅱ（助産・継続妊産褥婦のケア）					
選択／必修	必修	単位数（時間数）	8単位	45時間	授業形態	実習
担当教員	木下 珠希 ・ 窪田 裕子 ・ 田中 真穂					
メールアドレス	t-kinoshita@tsuruga-nu.ac.jp(木下) y-kubota@tsuruga-nu.ac.jp(窪田) m-tanaka@tsuruga-nu.ac.jp(田中)	オフィスアワー		事前にメール連絡してください		

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>産婦・胎児の助産過程の展開ができる。</li> <li>褥婦の助産過程が展開できる。</li> <li>新生児の助産過程が展開できる。</li> <li>異常への逸脱の判断及び救急時の対処方法が指導助言のもとにできる</li> <li>退院後1か月健診までの健康診査と助産診断ができる</li> <li>母子保健活動分野における助産師の役割及び他職種との連携・調整について考察できる。</li> <li>助産活動における倫理的課題・問題を認識し、考察できる。</li> </ol>
授業概要	産婦の健康診査と助産診断、産婦ケアおよび分娩介助の技術を実践できる能力、異常への逸脱の判断及び救急時の対処方法が指導助言のもとにできる能力など、産婦と家族に対する助産診断及び援助技術、分娩介助技術を習得する。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>実習期間：後期（9月～12月）</li> <li>実習方法： <ol style="list-style-type: none"> <li>分娩介助実習 直接介助10例（助産学実習Ⅰの継続事例を含む）の正常経過の産婦を分娩第1期～第4期まで受け持ち、分娩介助を含む助産過程の展開を実施する。</li> <li>産褥期実習 助産学実習Ⅰからの継続事例について直接介助を含め、産褥入院中、及び産後1か月健診まで助産過程を展開する。</li> </ol> </li> <li>実習施設（予定）： <p>敦賀市立病院 産科・婦人科 井上クリニック 福井県済生会病院 神野レディースクリニック しのはら産婦人科医院</p> </li> </ol> <p>*詳細は実習要項参照</p>

<b>教科書・ 参考書等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期の診断と技術Ⅱ（分娩期・胎児期・新生児蘇生法）、周産期の診断と技術Ⅲ（産褥・新生児期）の教科書・参考図書に準じる。</li> <li>・細野茂春. 日本版救急蘇生ガイドライン 2015 に基づく新生児蘇生法テキスト, メジカルビュー社</li> </ul>
<b>成績評価 基準・方法</b>	<p>実習要項に記載する方法・基準により評価する。</p>
<b>履修要件</b>	<p>前期開講科目の単位取得</p>
<b>留意事項・ その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習は、対象者の分娩経過に合わせて行います。そのため、実習は昼夜問わず行います。健康管理に留意し、自律した行動ができるように、入学時から心がけてください。</li> <li>・事前に前期授業の知識・技術を確認して実習に臨んで下さい。</li> <li>・周産期の診断と技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲにおける演習は、確実に習得して実習に臨んで下さい。</li> </ul>